

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： GAST-117

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
HER2陽性 胃がん	Tmab + Cape/CDDP (Tmab+XP療法)	21日間	6コース+α	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet 376: 687-97, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	初回 90分	↓																				
	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	2回目以降 30分																					
②	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓																				
③	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓																				
④	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																				
⑤	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑥	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																				
⑦	カペシタピン	2000mg/m <sup>2</sup> /日	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			

<注意事項/備考>

- ✓ 6コース終了後、Tmab (+Cape) (3週) を、PDとなるまで継続
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ Cape投与量：BSA<1.36m<sup>2</sup>：2400mg/day、1.36≤BSA<1.66m<sup>2</sup>：3000mg/day、1.66≤BSA<1.96m<sup>2</sup>：3600mg/day、BSA≥1.96m<sup>2</sup>：4200mg/day
- ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）
- ✓ HFS (Cape)：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意